

中学校編 第2部 5 「優しさのチャンス」

- 1 学 年 第1学年
- 2 主題名 自己の向上
- 3 内容項目 1 (5) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
- 4 テーマ D 自分のはぐくみ、責任ある行動
- 5 主題設定の理由
 - (1) ねらいとする価値
近年、インターネットやメール等の普及により、コミュニケーションの希薄さが目立つことも少なくない。友人関係においては、仲良く過ごしているつもりでも、何気ない言葉が人を傷つけることも多くある。「傷ついた」気持ちをそのままにせず、相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを振り返り「よりよく生きたい」と思う意欲を高めたい。
 - (2) 生徒の実態
個々の人間関係における課題はあるが、道徳の時間においては、教師からの問いかけに素直に考えて意見を言うことが出来る実直な生徒が多い。
 - (3) 資料について
本資料は、生徒作文であり、同年代の中学生の体験談ということもあり、中学生にとっては大変身近に感じられる資料である。言わなくていいことを言って相手を傷付けていたり、「謝る」ことが恥ずかしくて素直になれない主人公の気持ちに触れ、心の葛藤を理解することで自分自身の日常生活を振り返り、今後「ピンチをチャンス」に変えていこうとする意欲を高める機会にしたい。
- 6 各教科等との関連
特別活動
- 7 本時のねらい
本来ならばマイナスとなる「心の傷」をチャンスととらえ、「優しさ」に変えようとする主人公の視点の転換に気付かせ、「優しさ」をテーマに仲間関係をよりよくしようとする道徳的意欲を高める。
- 8 授業改善の視点
 - (1) 資料の有効活用
『京の子ども 明日へのとびら』の第2部は生徒作文が中心である。同じ年代の中学生が執筆していることで、より身近に資料を感じることが出来るので、主人公の心に深く共感し、自らの日常生活を振り返る良い題材として活用する。
 - (2) 言葉の働きに着目した指導
「チャンス」とは何かをイメージ化することにより、自己変革の流れを感じ取ることが出来るような指導を工夫する。

9 本時の展開

過程	学習活動	主な発問 予想される生徒の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導入	1 心の傷について考える。	<p>「傷つく」ってどんなとき？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なものを壊されたとき ・悪口、嫌なことを言われたとき ・腹のたつことを言われたとき <p>嫌なことや腹のたつことを言われたら、自分ならどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまんする。 ・言い返す。許せないので、相手にも同じ思いをさせたい。 ・傷付いたことを相手に伝える。謝ってもらおうと少し気が楽になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の傷について考えさせる。 ・自分にとって、「嫌なこと」や「腹のたつこと」を言われたら心が「傷つく」ということを引き出す。 ・自分自身の経験や思いを振り返るなど意見を交流し、発言しやすい雰囲気を大切に作る。 	
展開	<p>2 資料を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直に謝れない主人公の心情を考える。 <p>・主人公の気持ちの変化を考える</p>	<p>わたしは、どう考えて「謝らない」ことになったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明日にしよう」が毎日続いた。 ・相手は気にしてないだろう。 ・相手は忘れただろう。 ・自分は悪くないと正当化してしまった。 <p>腹のたつことを言われたわたしは、どんなことに気付いたのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言われた側は傷つく。() ・そう簡単に忘れない。() ・落ち込む。() ・傷はチャンスだ。() 	<p>切り返しの発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ「明日にしよう」になったのかな。 ・切り返しの発問をすることで、その考えのもとになる考え方は自己中心的なものであることに気付かせるように留意する。 ・自分が相手の立場になって始めて相手の気持ちがわかるようになったことに気付かせたい。 ・主人公の気持ちがマイナスの感情なのかプラスの感情なのかを矢印で示すことで、チャンスのプラスイメージをふくらませておきたい。 	

	<p>・主人公の気付きを考える。</p>	<p>「傷はチャンス」って具体的にはどうということだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を変えるチャンス 優しくなる。 / 言い過ぎない。 落ち着いて考える。 ・優しさのチャンス 自分から優しさを広げる。 ・素直に謝るチャンス 「明日にしよう」をやめる。 <p>「優しさ」って何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が困っている時助けてあげる。 ・厳しくても相手のためになることをする。 ・人を思いやること。 	<p>補助発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンスってどんなイメージ？ ・チャンスがプラスのイメージであることをおさえる。 ・「傷ついた」というマイナスの感情をプラスのイメージにとらえる比較がわかるように留意する。 ・また、傷つく人が増えないように考えることは自己中心的な考え方から脱却しているという視点の転換をおさえる。 ・「優しさ」という言葉がもつ意味を考え、行動や言葉から感じ取れる「あたたかい心」に着目できるよう留意する。 	<p>ちがった視点から考えようとしているか。</p>
終末	<p>3 応援メッセージを読む。</p> <p>4 授業で感じたことをまとめる</p>	<p>応援メッセージを読んでみよう。</p> <p>今日の授業で感じたことや、学んだことを書いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「チャンス」や「優しさ」等の言葉のイメージやこの時間に考えたことなどに触れながらまとめるようにする。 	<p>優しさについて、自分に置き換えて考えようとしているか。</p> <p>ワークシート</p>

10 板書計画

腹のたつことを言われたら自分ならどうする？

言い返す 倍にして返す

がまんする 無視する 落ち込む

優しさのチャンス

わたしはどう考えて「謝らない」ことになっただろう。

「明日にしよう」が毎日続いた

相手はもう忘れただろう

自分は悪くないと正当化してしまった

腹のたつことを言われたわたしは

どんなことに気づいたのかな

「傷はチャンス」って具体的にはどうということだろう。

- ・言われた側は傷つく
- ・そう簡単に忘れられない
- ・傷はチャンスだ

自分を变えるチャンス

優しくなる。 言い過ぎない

優しさのチャンス

自分から優しさを広げる

素直に謝るチャンス

「明日にしよう」をやめる

「優しさ」って何だろう。

- ・人に優しくしてあげる気持ち
- ・困っている人を助けてあげる
- ・人を思いやること

間違っていることをしっかり言えること

生徒感想文より（一部要約）

- ・ 「優しさ」を人に与えたことがあるかな？と考えさせられた。誰でも嫌なことを言われて謝ってくれないのはむかつく。そのむかついてる時点で謝らないとその人は余計に嫌な気持ちになる。その傷は自分が思うよりもっと深いものである。「明日にしよう」では「チャンス」はなくなる。私は、すぐに謝りたいと思います。
- ・ 自分が優しくしてもらった分、自分も優しくなりたいたと思った。言葉で言えていても、自分を捨ててまで人を助けることができるのかと言うと、少し迷ってしまいます。いつか堂々と「はい」と言える優しさの心を持ちたいです。
- ・ 思ったようにいかなかったりしたら、「相談」ではなく、「悪口」を言っていたりします。傷はチャンス。そんな風に考えた事はなかったです。けれど、今まで私がやってきたのは、相手も友だちもモヤモヤしてしまうやり方だったのではないかなと思いました。ごめんねと謝るのは難しいけれど、それができたら強くなれると思います。直接相手に言えるような強い人になりたいです。
- ・ 「傷つき」という負の気持ちを「優しさのチャンス」とポジティブに考えるところがよかったです。傷付いた人が悲しみを一時的にまぎらわすために、暴言をいうことはあると思います。傷ついた人に限らずみんながポジティブになるといいです。
- ・ 自分がやった事はいつか自分に返ってくるとよく言われていた。良い事をすると返ってくる。悪い事をしても返ってくる。どんなことでも、自分を振り返る事が出来るいい機会だと思う。チャンスをのがさないようにがんばりたい。
- ・ 優しさとは色々な優しさがあると思う。優しさは、嬉しさと少し似ているような気がする。優しさをあげることで嬉しさが生まれる。嬉しさからも優しさは生まれるかもしれない。

